

チームやんじー災害支援プロジェクト概要

2011年3月11日午後2時46分に起こった東日本大震災において、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、犠牲になられた方々とそのご遺族の皆様に深くお悔み申し上げます。

3・11の震災当時、私共、災害救援ネットワーク北海道は、北海道豊頃町において、レスキューキッチン（一度に100人分のご飯が炊ける機械）を使った炊き出し訓練指導の真っただ中でした。豊頃町も何度か津波で孤立化しており、町でレスキューキッチンを導入しております。

震災より3日間、豊頃町の避難された住民の方々と連絡を取り、被害状況を把握しておりました。何度かの炊き出し訓練の成果もあったのか、避難所では、町民が自主的に炊き出しを始めていました。

東北は、未曾有の甚大な被害であり、東北周辺の災害ネットワーク団体などと連絡を取りながら、北海道の様子を見つつ、行く準備をしておりました。

15日に、チームやんじー（代表 山口幸雄のニックネーム）プロジェクト災害支援プロジェクトを立ち上げ、23日に宮城に入りました。

通常、災害初期段階で、災害ボランティアコーディネーターとして被災地に入ることが多いのですが、今回は、地元の連携団体がそのような役割をしていたので、私どもが所有しておりますレスキューキッチン2台を駆使して、刻々と変化する状況に対応しながら、炊き出しを中心とした初期救援活動に入りました。

また、同時に北海道を中心に中継局が設けられ、後方支援チームができました。

被災地での現状を発信し、支援の方々と共有し、活動の様子をリアルタイムにお知らせするためにも、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、ユーチューブ、ユーチューブなど駆使しました。また、翻訳チームが、海外に向け、英語版でホームページを発信しています。

このようなことが積み重なり、全国、海外から多くの支援、協力の環が出来てきましたことは、周知のとおりです。

また、地元の方々も、【チームやんじー】の環が出来つつあり、まさに地球規模での活動となっております。

私たちは、地球家族、地球市民をキーワードに、1日も早く被災された皆様に笑顔と元気を取り戻していただこうと思っております。

主に《食》を通じて、ハートを届けたい、絆を深めたいという想いで全国、海外の同志の支えのもと活動させていただいています。

これからも、状況に柔軟に対応し、被災された方々に寄り添い、息の長い活動をさせていただきます。

今後とも何とぞよろしく申し上げます。

活動の様子を随時お知らせしています。

ホームページ <http://mouth-mountain.greenwebs.net/>

フェイスブック 災害救援ネットワーク北海道本部・チームやんじー

ツイッター @DRNHokkaido

災害救援ネットワーク北海道

チームやんじー災害支援プロジェクト

山口 幸雄 (やんじー)